

姫路市総合計画策定に係る 市民広聴の結果報告

- 1 市民参画・広聴実施概要・・・・・・・・・・1
 - (1) SNS等を活用した市民広聴・・・・・・・・・・1
(「#自称姫路市長」プロジェクト)
 - (2) ワークショップ形式による市民広聴・・・・・・・・・・3
(ひめじ創生カフェ)
 - (3) 中学生を対象とした姫路市まちづくり
アンケート授業・・・・・・・・・・5
- 2 市民参画・広聴意見まとめ・・・・・・・・・・7

令和 2 年（2020 年）1 月 21 日

1 SNS等を活用した市民広聴（「#自称姫路市長」プロジェクト）

(1) プロジェクト概要

- 【実施目的】 ①政策立案の参考とするため、日頃まちづくりについて積極的な発言を好まない市民からも幅広く意見を聴取する。
- ②取組みを SNS 等により幅広く発信することで、まちづくりや総合計画などへの関心と理解を高める。

【実施概要】 『#（ハッシュタグ）自称姫路市長』募集！』と題し、SNS等を活用し、市民の想いや決意、意見を聴取する。

【募集期間】 令和元年10月18日（金）～12月7日（土）

【参加資格】 姫路市在住・在学・在勤の個人や姫路にゆかりのある方のほか、姫路に関心のある方等

【募集テーマ（設定フレーズ）】

私が市長なら、●●します！ / 私が市長なら、●●を実現します！

【投稿方法】 募集テーマ（設定フレーズ）に沿って、想いやアイデアを文章等で簡潔に表現し、以下の方法により投稿

- ① SNS（Twitter、Facebook、Instagram）での「#（ハッシュタグ）自称姫路市長」による投稿
- ② 特設ウェブサイトの投稿フォーム入力

【意見総数】 805 件

【主な意見】 市民参画・広聴意見まとめ参照

【その他】 本取組みは、姫路市職員を対象に、今年度7月に実施した新総合計画推進室主催の職場研修「政策立案・まちづくりへの市民の巻き込み方とそのアイデア発想法」に参加した職員のアイデア提案を事業化したもの。



2 ワークショップ形式による市民広聴（ひめじ創生カフェ）

(1) ひめじ創生カフェ 開催概要 ※地方創生推進室事業

【実施目的】 多数の若者が交流し、姫路のまちへの想いや将来像について気軽に語り合うことで、姫路の魅力を再認識してもらい、まちづくりへの意識醸成を行う。

【実施日時】 令和元年8月21日（水）13時30分～17時

【実施場所】 姫路キャッスルグランヴィリオホテル 鳳凰の間

【参加資格】 姫路市在住・在学・在勤の18歳から35歳以下の方

【参加者数】 91名（学生31名、社会人60名）

【ワークの流れ】 ※○テーブルに分かれてグループワーク

- ①自身が姫路でやってみたい「コト」をカードに記入し、グループ共有
- ②やってみたい「コト」を実現するための必要な要素について検討し、グループ共有
- ③実現のための具体的取組みについてグループで議論し、共有
- ④グループでの議論内容を踏まえて、以下の内容で各自意見をまとめる
"私は姫路が○○なまちになってほしい"
そのために"私は姫路で○○を実現したい"

(2) ひめじ創生カフェ深掘りフォロー会議 開催概要 ※地方創生推進室事業

ひめじ創生カフェで出たアイデアのうち、興味関心が高いものについて参加者投票を実施。アイデアを数点に絞り込み、それらを基に、アイデアの深掘りフォロー会議を2回実施。

【実施日時】 第1回：令和元年10月17日（木）16時30分～18時30分

第2回：令和元年11月19日（火）16時30分～18時30分

【実施場所】 BIZ SPACE 姫路

【参加資格】 ひめじ創生カフェ参加者のうち、希望者

【参加者数】 第1回：15名（高校生等5名、社会人10名）

第2回：15名（高校生等6名、社会人9名）

【主な意見】 市民参画・広聴意見まとめ参照

▼ひめじ創生カフェの様子



▼PR 用チラシ



▼深掘りフォロー会議の様子



3 中学生を対象とした姫路市まちづくりアンケート授業

(1) 実施概要

- 【実施目的】①新たな総合計画の策定にあたっての市民参画・広聴の一環として、本市の将来を担う中学生の意見を聴取し、計画策定の参考とする。
- ②取組みを通じて中学生に姫路の未来とまちづくりについて関心をもってもらう。

【連携】教育委員会事務局 学校指導課

【実施期間】令和元年10月～11月

【実施校】取組みにご協力いただいた市立中学校9校

学校名	実施学年	人数
東中学校	2年生	151
豊富中学校	2年生	92
坊勢中学校	1年生	19
香寺中学校	2年生	162
大白書中学校	1年生	149
鹿谷中学校	2年生	24
城乾中学校	3年生	50
灘中学校	全学年	886
置塩中学校	全学年	127
	計	1,660名

【実施方法】各校において、まちづくりアンケート教材（市と実施校とで検討・作成）を用いた班別授業を期間中に1～2コマ実施

【アンケート内容】

～私たちが住む姫路の未来を考えよう～

問1：姫路市の魅力と課題

（選択肢から3つずつ選び、1番目に選んだ項目はその理由も記入）

問2：どうすれば（どうなっていたら）、10年後の姫路が魅力的になるか

問3：魅力的にするための具体方法

問4：その実現のために、私たちにできること

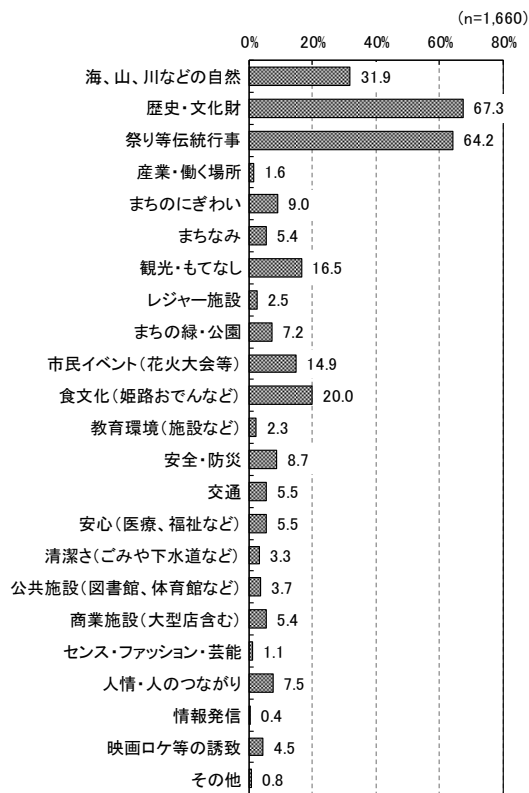
【主な意見】市民参画・広聴意見まとめ参照

▼授業の様子

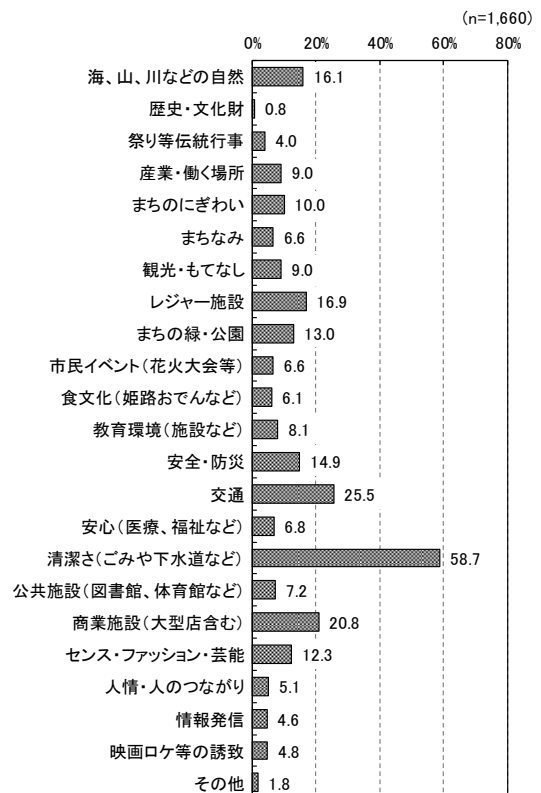


■中学生アンケート結果より

▼問1：姫路の魅力（複数回答）



▼問1：姫路の課題（複数回答）



魅力についての具体的な意見	課題についての具体的な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・姫路城は市民の自慢（歴史・文化財） ・伝統的な「灘のけんか祭り」がある（伝統行事） ・季節ごとにいろいろな伝統行事があり、みんながそれを大切にしているから（伝統行事） ・東京や大阪に比べて自然が豊か（自然） ・高齢の方と話ができて楽しい（人情・人のつながり） ・姫路おでんや御座候など美味しいものが多い（食文化） ・姫路城が見えるようにまちが作られている(まちなみ) ・映画を通して姫路のまちを知ってもらえるから（映画ロケ等の誘致） 	<ul style="list-style-type: none"> ・吸い殻やガムなどゴミが多い（清潔さ） ・駅が遠くて不便（交通） ・姫路城以外のものがない（観光・もてなし） ・公園が減って緑が減った（まちなみ） ・大学が無く、高校卒業後に残れない（教育環境） ・もう少し食文化を広めてほしい（食文化） ・あまり遊ぶところが無く、若い人にとっては面白くないと感じる（レジャー施設） ・短気な人が多い（人情・人のつながり） ・お年寄り向けのイベントが多く、中学生の自分たち向けのイベントが少ない（市民イベント）

■市民参画・広聴意見まとめ

(「#自称姫路市長」プロジェクト、ひめじ創生カフェ、中学生を対象としたまちづくりアンケート授業)

① 市民活動分野 (多様な主体が輝くまち)

多かった視点
<ul style="list-style-type: none">●来訪者や外国人も参加できるイベントを市民の手で開催し、姫路を盛り上げたい●誰もが集まり、多世代・異文化交流できる場所づくりをしたい●姫路の伝統行事や祭りに積極的に関わって市外や海外へアピールしたい●いつでも芸術に触れられるまちにしたい

特徴的な意見
<p><#自称姫路市長></p> <ul style="list-style-type: none">・恋・夢・出会いに関して、ドキドキわくわくできる「まち」にしたい・特技を持った人やライブで何かを伝えたいって人が自由に表現出来る場所や機会を作りたいな。(市民参加型のお笑い劇場やネット番組みたいなもの！)・「いつでも帰ってきてええん家(や)」というコミュニティスペースを作り、姫路市が地元で姫路市に住んでいない人たちが帰ってきてやすいようにします。また、姫路市に住みたいけど住んでいないという人たちの相談窓口にもなります・加入率日本一の自治会の仕組みをもっと活用して、多世代が集えるコミュニティスペースを各エリアに作り、コミュニティスペースを起点に姫路市全体を盛り上げられるようなイベント企画や、各エリアの課題解決をエンタメの力で解決できる拠点をつくります!!・10月の挨拶(おはよう、こんにちは、こんばんは)はすべて「よーいやさー」で統一・自治会とか子供会などの任意団体の運営をスマートなものにするシステムを官民で作っていく。自治会費やお花回収のオンライン化・LGBTの人たちが住みやすい市にします！同性パートナー制度、友情結婚の斡旋事業補助など、いろんな方が姫路に住みたい、住んでよかったと思ってもらいたいです！・姫路城までの道に彩りある花が咲くフラワーロードをつくり絵を描く人やストリートミュージシャンがいるような華やかで芸術に溢れた街づくりをします・寄付を募集して姫路駅にストリートピアノを設置し、姫路市を音楽の溢れる街にします！

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじが「全て」の人が活動するまちになってほしい。そのために・超人スポーツとか最新のテクノロジーを活かしたイベントや個人のスキルを活かしたイベントを実現したい
→クラウドファンディングを主に利用し必要なお金を集め、企業ともタイアップ
- ・姫路がたくさんイベントを行う町になってほしい。そのために、姫路でさまざまなフェスやライブを実現したい
- ・姫路が人々が繋がる町になってほしい。そのために、空き家を活用し、世代交流カフェやグローバルカフェを実現したい！！
- ・異文化共生できる姫路になってほしい。そのために、海外をもっと身近にする
→古民家を利用した異文化バル、姫路市在住の外国人に呼びかける、協力してくれる古民家やカフェ、バルを探す、異文化交流に関心がある姫路市民を募集する等

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・姫路市的人是優しいし、祭りによって人と人とのつながりが深いので積極的に多種類のボランティアに参加してもらい市民での力も活発にできる町にする
- ・ボランティアは、たくさんの方が参加する。SNS を利用し全国アピールする
- ・市外や県外からも興味を持ってもらえるように市民イベント等を増やす
- ・姫路市の歴史ある鳥や花がなくならないように姫路市民から進んで守っていく
- ・祭りや伝統行事を守っていく
- ・祭りに人が集まるように参加募集をする
- ・ゆかた祭りなどの伝統行事を、もっと賑やかにしたらいい

② 健康福祉分野（命・くらしの支え合い）

多かった視点

- 医療が充実したまちにしたい（経済支援・施設の充実等）
- 子育てがしやすい環境をつくりたい（経済支援・働き方支援等）
- 介護士、保育士が働く環境を改善し、介護・保育人材を確保したい
- 高齢者や障害者が活躍できる場所、機会をつくりたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・「医療・福祉先進都市」にします
現実的な課題として、少子高齢化に向けて、医療・福祉イノベーション課を作り、構成メンバーは40歳以下を中心とした課で、自分たちの喫緊の課題として考え、対策を検討する課を作ります！
- ・統合医療を探求する大学を創設いたします。最先端の医療はもちろんですが、代替医療と表現される、漢方、鍼灸、アーユルヴェーダ、アロマセラピーなども研究できる大学です。患者さんの悩みをお聞きする心理学の分野も重要でしょう。姫路は気候に恵まれ、古代から多くの文化に接してきたのでこのような特色を持つ大学があればと思います
- ・不妊治療の所得制限を緩和または撤廃し、共働きで仕事しながら不妊治療をしている人や子どもがいない(できない)家庭も支援します
- ・3人目以降のお子さんの医療と教育費は姫路市に限り全額免除！
- ・介護、福祉に優しい市にします。姫路市の介護タクシーは他の市町村に比べ高いし、非課税世帯ではオムツの医療費控除が受けられません。市で福祉車両の貸出、オムツ券の発行がある所もある様なので姫路市でも実行します
- ・もっと身体、精神障害者が働ける場所機会、コミュニティを作ります
- ・姫路で活躍している子育て現役中の各種分野のプロ講師が姫路の子育て支援施設で講師として活躍できるようにする！
- ・図書館で子ども食堂をします！（まちの本屋さん和市がコラボも）
誰がお金を払って食べているか分からない（一般の方は有料、貧困の方は無料）
仕組みを取り入れ、子ども食堂と言う名前では無い新しい言葉をつくって実施
- ・ペット殺処分ゼロの街にしてほしい！

<ひめじ創生カフェ>

- ・ 姫路が高齢者にやさしい街になってほしいです。雇用機会をつくり、外の世界とふれあえるようにします
- 平均寿命がどんどん長くなり、出生率がどんどん下がる今、高齢者は貴重な働き手であり、人生のセンパイとして尊重されるべきです。働く場所（雇用機会）を増やすため、高齢者がより自由にいろんな所に足を運べるよう車社会である姫路で”カーシェア”の実現をし、働きに行けるようにし、外の世界に触れ合う機会をもっと増やします

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・ 義務教育期間中の医療費を無料にすることをこのまま続ける（子どもがけがをした時に助かる）
- ・ どんな人が住んでも困らない町にする（福祉施設、点字ブロック）
- ・ 障がい者に必要なものを大切にする
- ・ 妊婦専用車両を設置
- ・ 地域の人に子供を預かってもらえる制度をつくる

③ 教育分野（生き抜く力の育成と歴史文化の継承）

多かった視点

- 市立小中学校でいじめ、暴力、不登校に対応できるようにしたい
- 教職員の負担軽減や学校教育の ICT 化をすすめて、教育の質を高めたい
- 特色ある教育科目や教育活動を導入し、教育の幅を広げたい
- 社会教育施設（図書館、美術館など）の機能・サービスを拡充し、特徴的なもの
にしたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・子供たちが日本、世界の一流に触れることができる機会をたくさん作り、枠に囚われずチャレンジし続け、突き抜けるチカラをもった若者を育みます
- ・大人の再教育ができる場所を作り、子供にお金の本質と生き方の選択の授業を義務化させます
- ・公民の授業に専門家を導入し面白く学べる様にする。若い世代がもっと政治に興味を湧く様な授業にする
- ・学校教育で妊婦体験をしてもらい、妊婦さんに優しいまちづくりを進めます
- ・学校のプールは廃止し、民間のプールを利用するようにします！学校の先生の負担軽減、施設のメンテナンスが不要、オールシーズン、プロによる指導が受けられます！
- ・市立姫路高校を国際バカロレア（IB）認定校に申請します
県立姫路西高等学校はスーパーグローバルハイスクール、同東高は単位制高校、そして姫高が IB 認定校となれば、公立高校としての特色や存在感が今よりずっと可視化されます
- ・いろんな事情で行きたくても学校に行けない、勉強したくてもできない子供達のためにタブレットで遠隔で学習（ビデオでも良い）または夜間教室を作る
- ・私が市長なら、給食のレシピをネットに載せます！給食を食べる機会の無い方が、姫路市の給食を作って食べられるようにしてみたいです
- ・給食日記を始めます。子供達がどんな給食を食べているのか、写真で分かりやすく確認出来るように、トレーに給食を並べたのを撮影して投稿するのようにしたいです
- ・日本の伝統文化が身近に息づくまちづくりを目指します！
- ・美術館機能を別の場所に移し、現美術館をお城ミュージアムなど、お城に特化した機能を持つ施設に生まれ変わらせます！

- ・体操服で学校に通えるようにします！制服はテスト期間中とか入学式や卒業式等、部活動や体育の無い、着替えなくても良い日だけ、着てくれば良いようにしたいです

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじに若者の選択肢が多い街になってほしい。そのために教育の幅を広げていきたい
 - 姫路市外で学生生活をすごした子たちが帰ってこられる働き場をつくる
どんな環境でもやりたいことのため、自分の選択肢をえらぶことができる教育の環境を作る（ソフト、ハードともに）
- ・理想の子育てができるまちになってほしい
 - 特色ある教育を実施できることで、それぞれの学校に魅力がある
教育機関の情報がHP等で十分に公開されており、学校の選択がしやすい等
- ・ひめじが学生にとって住みやすいまちにしたい
 - （市外の人も）みんなが使える自習室、場所の確保（学区に近く、駅近く）、資料の充実（パソコン使用可・問題集）が必要
- ・姫路城での授業を実現したい

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・大学を建てて、多くの若者を姫路に残す
- ・資金を調達して学校をきれいにする
- ・外国人との交流を盛んにして、人と人のつながりを大切にした教育のグローバル化を目指す
- ・子供が安心して通学できることが大事なので、スクールバスを作る
- ・教育面でタブレットとパソコンを使用して紙の使用を減らす
- ・文化を大切にし、尊重してたくさんの人たちに受け継がれてきたことを知ってもらおう

④ 環境分野（環境にやさしいまち）

多かった視点

- 道路や河川、海のごみを掃除して、きれいなまちをつくりたい
- 自然豊かなまちにしたい
- ゴミ箱を設置するなどして、ポイ捨てをなくしたい
- CO2削減による地球温暖化対策に取り組みたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・#気候非常事態宣言 を出し最重要課題として取り組み、SDGs17項目実現に向けて市としてグローバルな視点で尽力していきます
- ・河川のごみを綺麗にしたい。プラスチックのペットボトルなど、川に散乱するごみを極力少なくしたい
- ・風船飛ばしをやめます！セレモニーとかで、風船を飛ばす事があると思うのですが、環境に悪いみたいなので、飛ばさないようにしたいです
- ・野生動物への餌やりを禁止します！野良猫や鳩に餌やりする人が居て、排泄物や鳴き声の被害があると思いますし、山村部だと猪とかの被害があると思うので、野生動物餌やり禁止条例を作って、罰則を設けます。とりあえずは、姫路城周辺あたりでやってみたいです。浸透してきたら…市内全域に拡大したいです
- ・大手前通りの街路樹をイチョウ並木や、ケヤキ、カエデなど姫路城と相まって季節の絶景になる樹種にします。大阪の御堂筋、仙台の街路樹を参考に、美しい街並みにします
- ・駅前のトランジットモール内に進入できる車をFCV（燃料電池自動車）とEV（電気自動車）に限定し、段階的に期限を設けて排気ガスを排出する車両を駅北広場から排除することを宣言し、排気ガスがなく思いっきり深呼吸をしたくなる駅前、エンジン音で声がかき消されない会話が弾む駅前の実現を目指します
- ・電気自動車を活用します！小さい電気自動車でカーシェアリングとかやってみたいです

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじが自然豊かかつ活発なまちになってほしい
→海への交通をより便利にし、地元の人でも他地域から来た人でも、すぐ海へ行けるようにする。安全面で安心していただくために、海岸は常にきれいに保ち、砂浜の部分（利用スペース）を拡げる
→積極的にボランティアに参加し、きれいな海を保つ。クラウドファンディングを行ない、イベント協力者を集める
- ・ひめじがキレイなまちになってほしい。そのために、私はひめじでゴミ箱の設置を実現したい
→クリーン活動の実行委員会、ボランティアが必要

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・海や川をきれいにする
- ・自然をどの県よりも豊かにして、環境が良いと思ってもらえるようにしたい
- ・ゴミのない、きれいな町作り。タバコ禁止する
- ・ゴミ箱に小中学生が書いた絵をプリントする
- ・週に一回、市民全員で掃除する。そういうことを快くできる姫路市民でありたい
- ・ごみが増えるのはよくないが、分別して集められたごみの重さでポイントがたまるようにする
- ・町中を掃除してくれるロボットを作る

⑤ 産業分野（世界に誇れる価値を生む地域産業の確立）

多かった視点

- 地域資源のブランド化や活用をすすめ、新たな姫路名物をつくりたい
- 自然資源（海、山、川）を活かしたイベントにより、農山漁村を活性化したい
- 大企業や大規模商業施設などの誘致により、働く場所を増やしたい
- 創業・ビジネス支援環境を充実させ、若者やよそ者が働きやすいまちにしたい
- 商店街や商業店舗のサービスや機能を充実させ、魅力的な店舗を増やしたい
- 公共空間活用を利活用したマルシェやバーなどで、まちの魅力を創出したい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・美味しい姫路の魚をブランド化します。白身の魚が取り分け美味しい姫路として、白身魚を城見魚と銘打ちアピールしたいです
- ・美白な姫路城にちなんで、美白美容液を開発して売り出します！
- ・姫路市の山を元気にするため姫路市の木でおもちゃをつくります。そして生まれた子どもへの木育スタート宣言をします！
- ・「姫路といえばこれ！選手権」を行います。姫路いうたら絶対これ！という定番のおみやげがないんです。投票で決めちゃいましょう。あるいはまったく新しいものをつくる
- ・家島諸島への IT 企業の誘致を実現します！そのために、法人税の減免やブロードバンドの整備、空き家の改修など、経済特区に指定します！
- ・市外、県外の方に向けて姫路での創業機会やビジネスマッチングの機会を提供するプラットフォームを立ち上げ、どんどんよそ者、若者、馬鹿者にチャンスをどんどん提供します
- ・ニュービジネスを始めたい人に優しいまちをつくります
- ・衰退した商店街を保育園や幼稚園に使い活気を取り戻します
- ・地域キャッシュレス「ヒメカ」を作りまだキャッシュレス非対応な小さな店や手数料で悩む事業主にかなり低く設定してお金が姫路市内で回るようにします。観光客にも少しお得に発行してもらえるようにします。バスや電車にも対応させます
- ・キャッスルビューで誰もが気軽に楽しめるバーをしたいです

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじがお酒で有名なまちになってほしい。姫路で酒蔵巡りするのを目指す
→姫路駅から酒蔵までは交通の便が悪いため、シャトルバスを運行する
- ・姫路で商店街を使った企画がしたい
- ・若者が姫路に定住してもらうために、高校生をメインターゲットとしたランチパスポートの高校生版を作る
→姫路の企業に協賛してもらってランチ MAP を作り、商店街を歩いてもらう
- ・ひめじがおしゃれで居心地の良いまちになってほしい！
→日曜日の AM、広場でヨーロッパのオシャレなマーケット

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・土地価格を安くして大型ショッピングモールやテーマパークを作る（コストコとか）
- ・就職できる場所を増やす
- ・商店街のシャッター街を解消する努力をする
- ・空き家などのあいている場所に商業施設をつくるスペースとして貸し出しをして、収益を得る
- ・サブカルチャー、何かのジャンル（アニメ、楽器、アイドル）専門店をつくる
駅から離れたところにもお店をつくる
- ・面白い自動販売機を作る

⑥-1 観光分野（にぎわいと感動の創出）

多かった視点

- 姫路城の入場サービスを拡大したい（開場時間の延長、年間パス発行等）
- 姫路城や姫路城周辺の規制緩和を行い、利活用を促進したい
- 観光客が姫路城だけでなく、姫路全体を周遊できるようにしたい
- 駅からお城までの景観統一や店舗の充実で、城下町らしいまちづくりをしたい
- 受入環境を充実させたい（ハード整備、市民のおもてなし意識の醸成）
- 外国人が日本文化を体験できる体験型観光コンテンツを充実させたい
- ナイト観光を充実させたい（宿泊施設の整備や商業施設の営業時間の延長等）
- 話題性のある観光 PR、スポットやイベントづくりにより観光客を呼び込みたい
- 食を活かした観光振興をしたい（姫路の食が味わえる飲食店舗の充実、PR 強化）
- 家島の観光 PR を強化したい
- 姫路動物園・水族館を抜本的に改革したい（施設整備、ソフト整備）

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・市民は姫路市民以外の方と姫路城に来たら、市民の方は無料で入城できるようにする！
- ・姫路城で大型イベントを開催したい！（大阪城では大型イベントを多数開催し、たくさんの方が訪れています）
- ・世界遺産姫路城バッファゾーン内に限り民泊条例の規制緩和、姫路市内外のインバウンド業者が交わる公共スペースを設置
- ・「姫路に来たら2泊しないと時間足りないね」と言われるくらい観光コースの交通インフラを整え、お土産のバリエーションを広げます！
- ・姫路駅～姫路城までの建物すべてを城下町風の外観にします。蔵、町屋などそこにいるだけで江戸時代にタイムスリップ。建物全体は無理でも、通りに面した部分だけでも。まずはみゆき通りから。伊勢神宮のおかげ横丁みたいに、用事なくもとりあえず歩いてみたい街並みに
- ・書写の美術工芸館を観光客の方々が様々な体験ができて泊まれる、体験型宿泊施設に生まれ変わらせます！
- ・しろまるひめのバースデイパーティを実現します！（平成22年4月6日）
- ・しろまるひめの喋り方を統一します！キャラクターのイメージって大事だと思うから、ぶれにぶれまくっているのを、正していきたいです
- ・8月を播州皿屋敷月間にし、お化けの仮装をしていたら、映画館やバスなどを無料にします！

- ・早川書房の協力のもと、フィリップ K ディック等の SF 作品の企画展を、姫路城、美術館、文学館、科学館等で共同実施し SF で姫路を盛り上げます！仮タイトルは『白い城の男』フェアです
- ・動物園と水族館を複合化
単体勝負は無謀。削減し、コンテンツを向上。動物園内の遊園地は廃止
補足：両方老朽化。動物園は、特別史跡内で改修も困難。水族館は、揚水も容易な海側に移転しては

<ひめじ創生カフェ>

- ・姫路が外国人（観光客）にとってやさしいまちにしたい
→姫路の有名スポットについて英語で話せる人を増やす、英語で対応可能なスポットのピックアップ等
- ・ひめじが一泊以上してもらえるまちになってほしい
→娯楽を増加（夜あいているバーやインスタ映えカフェ、ポーリング、岩盤浴）させたり、ご当地グルメの考察等
- ・イベント情報発信アプリの創設～食とイベントをグッと近く～
→イベント情報アプリを開発し、現在行われているもの、これから行われるものを定期的に配信する
- ・ひめじが「県外の友だちを呼びやすい街」になってほしい
→空き家の活用などによるひめじらしさのある宿泊施設の設置、カーシェアリングの充実などによる交通機関活用の工夫

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・姫路城が関わるイベントをもっと増やす（子どもから高齢者まで参加できるイベントを）
- ・姫路といえば姫路城。でも、姫路城には若者が集まらない。若者が集まるように、姫路城の敷地内で有名人のライブをしたり、若者が集まるイベントを開催する
- ・姫路城だけでなく他の文化財の観光も呼びかけ、他の市と協力したツアーを用意する
- ・どこでも Wi-Fi を使えるようにする
- ・城下町の世界観をもっとつくって観光地として発展させる
- ・外国人観光客向けに祭りの屋台を担ぐ体験などをしてはどうか
- ・丘みどりを有名にする

⑥-2 スポーツ分野（にぎわいと感動の創出）

多かった視点

- 市民スポーツクラブ創設等により、スポーツ人口を増やし、市民を元気にしたい
- プロチームを作りたい
- 体育館・競技場等の施設の整備など、スポーツができる環境を確保したい
- 学校スポーツへの外部コーチ（プロ）の招へい・指導で競技者を育成したい
- スポーツイベントを通じて地域を活性化したい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・市民スポーツクラブを創設する。色んなスポーツの初心者コースからトップレベルを狙えるコースを設定し、小学生から老人、初心者から上級者まで体を動かして健康に過ごせるようにする
- ・指導力のある高校野球の監督を招へいします
- ・女子バスケや卓球のプロチームをつくり、バレーやサッカー同様、スポーツで姫路を盛り上げます！
- ・姫路城マラソンで着るウェア（上着）を桜のピンク限定にし、街中にピンク一色にさせ、街中に桜が咲かせる
- ・スケートパークをもっと広げてパルクールやボルダリングも作り、総合エクストリームスポーツ場にし、世界大会を開催できるようにする
- ・シーズン中にプロ野球の試合が出来るよう姫路球場の整備を強化します
- ・eスポーツ（ゲーム競技）大会を誘致する

<ひめじ創生カフェ>

- ・姫路が文化やスポーツ共に盛んな市になってほしい
→企業や市、学生が連携して音楽・スポーツ教室を開校し、市民が体験できる場所づくり
- ・ひめじがスポーツが盛んなまちになってほしい
→スポーツが出来る環境にもっと整える、子どももスポーツが気軽に出来る所を作る、色々なスポーツのイベントや大会を作る等
- ・姫路のスポーツを盛り上げたい。（主にサッカー）
→そのために、高校サッカーに力をいれ陸上競技場の改修をする

- ・ひめじからオリンピックやパラリンピックに出場する選手を輩出することを目指します！！
→大型の競技場・体育館、バリアフリーの移動車、実際のプロ選手との交流が必要

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・スポーツできる公園を増やす
- ・スポーツを盛んにして応援してくれる人を増やす
- ・プロが試合する場所を作る
- ・スポーツで有名な街にするためスポーツができる場所を増やす。プロスポーツチームなどを作る（バスケットなど）

⑦ 都市基盤分野（交流と魅力を支える都市基盤の構築）

多かった視点

- 公共交通機関の利便性向上やカーシェアの実現等により、交通利便性を向上させたい
- 駅前だけでなく、周辺地域のインフラを整備したい
- 道路、歩道、自転車コースを整備して、皆が安心して移動できるまちにしたい
- 手柄山の再整備など、誰もが安心して楽しく利用できる魅力ある公園整備をしたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・姫路市民は市内の公共交通機関は無料にします！姫路市内の移動を容易にすることで、市内の活性化を促します！
- ・姫路駅～夢前～安富～山崎ルートでモノレールを施設します！
- ・田舎や郊外にコミュニティバスや路線バスを増便します。姫路駅集中ではなく路線間を繋ぐ便を作り利便性を改善する！
- ・大手前通りのオフィス系ビルは駅より南に移し、姫路城までの道のりにもっと観光向けのお店や、ショッピング施設、アミューズメント施設を！お城近くの店の営業時間を延ばす！
- ・大手前通りを歩行者天国にして、姫路駅から姫路城まで一日ぶらつける場所にします
- ・観光施設を手柄山に集約します。植物園、手柄山遊園&プール、回轉展望台を撤去し、空いた所に科学館、文学館、美術館、美術工芸館を手柄山に移転させ、観光客用の駐車場も増やしたいです。あちこちバラバラな場所にあるよりも、1か所にまとめれば、回りがよくなって、観光しやすいと思うからです
- ・帰省した時にゲートボールをするからこっちに来るなどと言われるような公園では無く、子供がのびのび走り回ったり遊べるお年寄りも子供も共存できる公園を作ります
- ・アワイチ（淡路島一周）、ビワイチ（琵琶湖一周）ならぬ、ヒメイチを開催できるよう、自転車の施設整備、コース整備を行います！
- ・右折レーンの整備をして姫路の街を走りやすくします

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじが“交通面で便利なまち”になってほしい
→市民の声、要望を集めるために動画等を作成し、交通費が高いことで一人暮らしを選択し結果的に人口の減少につながるなどのデメリットをアピールし、発信する
- ・姫路が便利な移動しやすい町になってほしい
→利用者がいないと運営できないので、駅周辺以外のスポットを充実させたり、署名活動等を行い、市や社会にアピールする。社会的弱者、女性や高齢者に優しい特典を提供する

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・電車やバスの本数を増やして、通勤・通学を便利にする
- ・山の奥から都会まで続くバスがあれば良い
- ・姫路で新しいことをしてみる。バスの柄を変えてみる
- ・地上はいっぱいだから、地下を有効利用する（例えば、地下鉄など）
- ・道などを作り変えて、事故などが起こらないようにする
- ・総合運動公園などの憩いの場を作って、縦のつながりを作れる町にする
- ・和式のトイレが公園に多いので、洋式に取り換える
- ・階段をなるべく減らしてスロープなどを増やす

⑧-1 防災分野（災害に強く安全で安心な都市）

多かった視点

- 防災授業・避難訓練などを通じて、市民一人ひとりが災害に備えたい
- 防災用備蓄や非常用設備の設置などを通じて、災害に備えたい
- 河川の氾濫、豪雨による土砂崩れ等を防ぐため、整備を行いたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・災害に強い街づくりと障がい者に優しい街づくりを推進します
- ・災害用 特別備蓄倉庫をつくり、災害発生時に市民に瞬時に配給できるようにします！
- ・大阪の 880 万人訓練のように姫路市または播磨地域で地震や台風など自然災害の一斉訓練をやる。
- ・生徒及び一般市民向けに防災授業、避難体験会を行い実際に避難体験をしてもらう。
- ・姫路駅前の芝生広場の地下に設置されている 10 トンの非常用水タンクを使用する時の部品（パイプやポンプ、蛇口）を見えるところに設置し、万が一の時には誰でもが扱えるようにします
- ・皆を安全な場所に住めるようにします！つまり、川の近く、海の近く、崖地など、危険な地域は居住禁止区域とかにして、住宅を建てて住めないようにしたいのです
- ・防災の点から姫路市の山林部の整備や河川の状況をチェックし、ため池の整備も地域任せにせずに、緊急の課題として、市が介入します
- ・広報ひめじの創刊号から現在までの分を HP に再アップします！姫路で過去に何があったか。過去の災害や事故の記憶は後世に伝えていくべき

<ひめじ創生カフェ>

- ・意見なし

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・南海トラフが来る前に、防災イベントを開き、意識を高める

⑧-2 安全安心分野（災害に強く安全で安心な都市）

多かった視点

- 道路のガードレール整備や用水路のフェンス設置などにより、安全に住めるまちにしたい
- 防犯カメラや街灯の増設置などにより、治安を改善したい
- スクールバス導入や地域の見守り強化などにより、子どもの安全を確保したい
- 空き家対策をして、その場所の利活用を進めたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・交通事故が1件でも減らせるよう自動車安全技術のついた車の購入により手厚い支援を行います！
- ・市内全ての信号機に安全カメラ設置。防犯だけではなく災害時の情報収集がはかどったら良い
- ・少なくとも公立の幼保や小中学校には警察や自衛隊・警備会社OBを配置し、登下校時や授業中の校内外の見回りを行う

<ひめじ創生カフェ>

- ・ひめじが安全安心に住めるまちになって欲しい。私はひめじで全ての道路にガードレール設置を実現したい
→昨今の交通事故、自動車のアクセル、ブレーキ踏み間違い、高齢者の事故等から人々を防災する必要性を訴える
- ・ひめじが安全安心な町になってほしい
→歩道の整備、自転車専用道の設置などが必要。個人の意識向上を求めてラジオ局での交通事故啓発CMの推進等

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・免許証を取れる年齢を下げ、ルールを知ってもらうと共に、返す年齢も下げ事故を減らす
- ・子どもが楽しく安全に遊べる場所を増やす
- ・子供が安心して通学できることが大事なので、スクールバスを作る

⑨ 行財政運営分野（市民ニーズに応じた行政サービスの提供）

多かった視点

- 市役所内での民間（外部）人材登用などにより市職員の質を向上させ、行政サービスの拡充をしたい
- 新たな市役所組織や仕組みを作り、効率的な市民サービスを提供したい
- 効果的・効率的な情報発信により、市政や市の魅力をわかりやすく伝えたい
- 市民がまちづくりや選挙への関心を高めるような取組をしたい
- 市民意見の反映や官民連携によるまちづくりを推進する市役所組織や仕組みを作りたい

特徴的な意見

<#自称姫路市長>

- ・優秀な職員を増やし、行政サービスを向上させます！年功序列制をやめ、優秀な人材を確保するために採用を外部委託します。
- ・民間からGMを招聘し、継続的な大きなビジョンを掲げ、時代(世間)の流れにシンクロした市役所組織体制を構築し、市民と市政の乖離を無くします！
- ・私が市長なら、民間企業の経営コンサルタントを副市長待遇で就任させます！税金を使って事業を実施することももちろん大切ですが、市がお金を稼ぐこと、将来にわたって黒字財政を維持することはもっと大切です
- ・SNS発信課を作り、クリエイティブな人を入れYouTubeやTwitter、Instagramで若い人や外国人にアピールしていきます。姫路城以外の隠れたスポットやお祭りを盛り上げます！写真や動画のコンテストも行います！
- ・「地域の課題を分析する統計分析課」を作ります
- ・「市民の声を分析・検証する課」を新設します。市民からどんな声が寄せられているか、どんな対応がなされたかをだれでも閲覧できるシステムをイメージします
- ・姫路市民カードをつくり、様々なポイントカードと連携し、銀行口座と結びつき、姫路市内の店で買い物すると、お得なサービスを受けられるようにします。もちろん、健康保険や図書館、定期券、クレジットカードなどのカード機能がついています
- ・大手前公園で毎日、今日、今、どんなイベントがあるのか一目でわかるページを作ります！
- ・議会を姫路城でやります！

- ・情報公開の先進的な市として話題になるくらいオープンで健全な市にして、住みたい街にします。市民の目が職員や議員をチェックできる仕組みを作って市民が街づくりに参加している意識を養います
- ・市長と直接会って話し合う機会を作ります！グループ単位だと人集めが大変なので、個人でも市長と直接会って、市政について話し合う機会があれば
- ・市民のみなさんの声や思いの具体化に向けた検討をする組織を作ります！
- ・市役所内に官民連携の専属部署を作り、市民と行政とのつなぎや調整を行うとともに、民間主導によるまちづくりを積極的に推進します！それにより、まちのために頑張る市民がチャレンジできるまちとして市外や若者にアピールしていきます
- ・姫路が大好きで、頑張ってくれている方の思いを実現できるシステムを作ります！
- ・若者がソーシャルビジネスや起業に関心を持ち、それを企業や行政が応援。育った人材が地域社会と経済を担う地方版のエコシステムをつくります
- ・姫路駅周辺だけを整備するのではなく、もっと広く過疎化する地方の活性化を図ります。そのためには、若者が地方でも楽しく活躍できる場を提供します
- ・まずは姫路のイメージカラー、コンセプトを【shiro】に統一します。手柄山公園の名前も、white ○○○ park に。徹底的に姫路のイメージをお城の白だけでなく、統一感のあるイメージ定着を

<ひめじ創生カフェ>

- ・姫路の学生が選挙について身近に感じられる街になってほしい
→講師は現役の市議など子ども達がより身近に感じたり、今している人にする
ことで、より深く、広く知ってもらえるようにする

<中学生まちづくりアンケート授業>

- ・姫路の都会過ぎない田舎っぽさを残し、大切に作る
- ・カラフルなまちにしたい
- ・姫路出身の芸人などに市をプロデュースしてもらおう
- ・姫路の魅力を伝えるアニメを作る
- ・違うジャンルどうしの建物を融合させる
- ・都市部からのIターン、Uターンを狙った姫路移住者への物品を配布する